

平成 31 年度分 市民税・県民税申告書

結城市長様  
年  
月 日提出

分離課税に係る所得等のある方は、「市民税・県民税申告書(分離課税等用)」をあわせて提出してください。  
この申告書を提出した方は事業税の申告書を提出する必要がありません。

個人番号		生年月日	
フリガナ		明・大・昭・平	
氏名		年 月 日	
1月1日の住所		世帯主名	続柄
現住所		電話番号	
未成年	家 非 臨変 外国額控除	業種又は職業	宛名番号

3 所得から差し引かれる金額に関する事項

⑩ 雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類
⑪ 医療費控除	損害金額	保険金などで補てんされる金額	差引損失額のうち災害関連支出の金額
⑫ 社会保険料控除	支払った医療費等	保険金などで補てんされる金額	
⑬ 社会保険料控除	社会保険の種類	支払った保険料	
⑭ 生命保険料控除	新生命保険料の計	旧生命保険料の計	
	62 円	63 円	
	新個人年金保険料の計	旧個人年金保険料の計	
	64 円	55 円	
	介護医療保険料の計		
	65 円		
⑮ 地震保険料控除	地震保険料の計	旧長期損害保険料の計	
	円	円	
⑯ 障害者控除	氏名	障害の程度	級度
	個人番号		
	氏名	障害の程度	級度
	個人番号		
⑰ 配偶者控除	氏名	生年月日	明・大・昭・平
	個人番号	配偶者の合計所得金額	円
	氏名	配偶者の合計所得金額	円
	個人番号		
⑱ 扶養控除	氏名	生年月日	明・大・昭・平
	個人番号	同居・別居の区分	控除額
	氏名	生年月日	明・大・昭・平
	個人番号	同居・別居の区分	控除額
	氏名	生年月日	明・大・昭・平
	個人番号	同居・別居の区分	控除額
	氏名	生年月日	明・大・昭・平
	個人番号	同居・別居の区分	控除額
⑲ 基礎控除	氏名	生年月日	明・大・昭・平
	個人番号	同居・別居の区分	控除額
	氏名	生年月日	明・大・昭・平
	個人番号	同居・別居の区分	控除額
	氏名	生年月日	明・大・昭・平
	個人番号	同居・別居の区分	控除額
⑳ 合計			330,000

源泉徴収票などの書類は、申告書には貼らず、添付書類台紙に貼ってください。

1 収入金額等	事業	営業等	ア	
	農	業	イ	
	不動産		ウ	
	利子		エ	
	配当		オ	
	給与		カ	G33
	雑	公的年金等	キ	X43
		その他	ク	V44
	総合譲渡	短期	ケ	ル80
		長期	コ	レ81
	一時		サ	ロ82
2 所得金額	事業	営業等	①	A36
	農	業	②	B37
	不動産		③	H42
	利子		④	D39
	配当		⑤	E40
	給与		⑥	GG35
	雑		⑦	I45
	総合譲渡・一時		⑧	L46
	合計		⑨	49
4 所得から差し引かれる金額	雑損控除		⑩	50
	医療費控除	区分 <input type="checkbox"/>	⑪	51
	社会保険料控除		⑫	52
	小規模企業共済等掛金控除		⑬	53
	生命保険料控除		⑭	56
	地震保険料控除		⑮	61
	寡婦(寡夫)控除		⑯	
	勤労学生、障害者控除		⑰～⑱	
	配偶者控除		⑲	
	配偶者特別控除		⑳	
	扶養控除		㉑	
	基礎控除		㉒	330,000
	合計		㉓	

※印の欄には記載しないでください。

地方税法附則第4条の4の規定の適用を選択する場合には、「医療費控除」欄の「区分」の□に「1」と記入してください。

5 給与・公的年金等に係る所得以外(平成 年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の市民税・県民税の納税方法

給与から差引き(特別徴収)  自分で納付(普通徴収)

「個人番号」欄には、個人番号(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。)を記載してください。

※特定取得	1.該当	2.非該当	※住宅借入金控除前所得税	円
※所得税課税			※住宅借入金等特別控除可能額	円
	000円		※居住開始年月日	・

所得のなかった方の記載欄	
①下記の者に扶養されていた。または援助を受けていた。	②次のような年金・恩給を受給していた。(○印をつけてください。)
住所	老齢福祉年金 遺族年金 障害年金 その他
氏名 続柄	( )
※学生の方は学校名・学年を記入してください。	③雇用保険(失業保険)・生活扶助を受けていた。
学校名 現在の学年 年	年 月 日 ~ 年 月 日まで
④その他昨年の状況を記入してください。	

裏面にも記載する欄がありますから注意してください。

6 給与所得の内訳

(日給などの給与所得のある人で、源泉徴収票のない人は記入してください。)

月	日	給	勤務日数	月	収
1		円			円
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
賞与等					円
合計					
勤務先所在地					
勤務先名					
電話番号					

7 事業・不動産所得に関する事項

所得の種類	所得の生ずる場所	収入金額	必要経費	青色申告特別控除額
		円	円	円

8 配当所得に関する事項

配当所得の種類	所得の生ずる場所	支払確定年月	収入金額	必要経費
			円	円
			国外株式等に係る外国所得税額	

9 雑所得(公的年金等以外)に関する事項

種目	所得の生ずる場所	収入金額	必要経費
		円	円

10 総合譲渡・一時所得の所得金額に関する事項

		収入金額	必要経費	差引金額 (収入金額 - 必要経費)	特別控除額	所得金額 (差引金額 - 特別控除額)
総合譲渡	短期	円	円	円	円	円
	長期				円	
一時					円	
					ニ 合計イ + [(ロ + ハ) × 1/2]	

右上のイの金額を表面のケに、ロの金額を表面のコに、ハの金額を表面のサに記入してください。右のニの金額を表面の⑧の所得金額欄へ記入してください。

11 事業専従者に関する事項

氏名	続柄	生年月日	従事月数	専従者給与(控除)額	※主配	※他配	※均有	※未	※別	※専順位	個人番号
		明・大 昭・平		円						A	
		明・大 昭・平								B	
		明・大 昭・平								C	
		明・大 昭・平								D	
合計額											
所得税における青色申告の承認の有無				承認あり・承認なし							

12 別居の扶養親族等に関する事項

氏名	住所	生年月日
	個人番号	続柄
氏名	住所	生年月日
	個人番号	続柄
氏名	住所	生年月日
	個人番号	続柄

13 配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除に関する事項

特定配当等に係る所得金額、特定株式等譲渡所得金額を総所得金額に含め、配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除を受けようとする場合は、下の各欄に配当割額及び株式等譲渡所得割額を書き入れてください。

配当割額控除額	円
株式等譲渡所得割額控除額	

14 寄附金に関する事項

都道府県、市区町村分	円
住所地の共同募金会、日赤支部分	
条例指定分	県
	市町村

支出した寄附金に応じて、各欄にそれぞれ寄附した金額を記入してください。ただし、認定特定非営利活動法人及び特例認定特定非営利活動法人以外の特定非営利活動法人に対する寄附金については、上欄に記入せず、別途「寄附金税額控除申告書(二)」を提出してください。

15 事業税に関する事項

非課税所得など	番号	所得金額
損益通算の特例適用前の不動産所得		円
事業用資産の譲渡損失など	資産の種類	損失額、被災損失額(白)
前年中の開(廃)業	開始・廃止	月 日
<input type="checkbox"/> 他都道府県の事務所等		

源泉徴収票などの書類は、申告書には貼らず、添付書類台紙に貼ってください。

※印の欄には記載しないでください。